

立冬（りっとう）



11月8日頃（2025年は11月7日）。および小雪までの期間。

太陽黄径225度。

霜降から数えて15日目頃。

立冬とは、冬の始まりのこと。

「立」には新しい季節になるという意味があり、**立春**、**立夏**、**立秋**と並んで季節の大きな節目です。 ※これらを四立（しりゅう）といいます。

朝夕冷えみ、日中の陽射しも弱まって来て、冬が近いことを感じさせる頃。**木枯らし1号**や初雪の便りも届き始めます。

立冬を過ぎると、初霜が降りて冬の佇まいへと変わります。

この日から**立春**の前日である**節分**までが冬。

木枯らし・凧

晩秋から初冬にかけて吹く、冷たくやや強い風。

気象的には、10月半ばから11月末にかけて西高東低の冬型の気圧配置の時、

最大風速8m/秒以上の西北西から北向きの風のことをいいます。

「凧」という文字には、風が吹くたび葉が落ちるため、木を枯らしてしまう風という意味があります。

❖ 季節のおはなし **木枯らし1号**が吹きました

季節の言葉

❖ **時雨（しぐれ）**

晩秋から初冬にかけて降る通り雨のこと。